

# 英語で発信する政治学プログラム

## 概要・目的

みなさんは、法学部で社会を動かすルールである法律や、それらが作られ、運用される環境としての政治について学びます。法学部の授業では、主に日本語を使ってこうした理解を深めていきますが、実際にみなさんが暮らしている日本社会では、ますます多文化な環境が広がっています。みなさんの中には、日本を離れて留学や海外インターンシップなどの経験を積むことを目指している人もいるでしょう。そうした多文化な場面で、みなさんが学んできた法や政治について、相手に理解してもらえらる形で意見を交わすことができれば、みなさんの世界はさらに広がっていきます。

このプログラムでは、みなさんが法学部で学ぶ内容を前提としながら、英語を媒体として議論をおこなう素地を作ります。言語が異なれば、語彙が違うだけではなく、議論する際の論理的な構造も違ってきます。自分の意見を英語で論理的に組み立てて、相手を説得することを目指しますが、相手の考えを尊重しながら聞く姿勢も、同時に体得してもらいたいと思います。

1年次生の秋学期は、まず英語で議論するための準備を行います。2年次生の春学期に、英語で論理的に議論する訓練をおこない、夏休みには英語による日本政治の授業を受講し、これまでの成果を確認してください。並行して関連する講義科目を受講することで、みなさんが自分の考えを形成する土台となる学問的な積み重ねもおこないます。早ければ、2年次生の秋学期から海外留学を目指すことも可能です。

## 構成科目・修了条件

- 基礎演習
- 発展演習
- トピック演習
- 外交史1
- 外交史2
- 西洋政治史1
- 西洋政治史2
- 国際政治学1
- 国際政治学2
- 地域研究1（東アジアの政治）
- 地域研究2（東南アジアの政治）
- 地域研究3（アメリカの政治）
- 地域研究4（イスラーム圏の政治）

4単位以上修得すること